

パレスチナ自治のガザ区とイスラエルとの間で大規模な戦闘が起きています。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が継続している中、また子どもたちをも巻き込んだ争いが平然と行われています。国際人道法の原則は戦争では無視され、民間施設も標的となり市民が犠牲となっています。戦争は最大の人権侵害であり、私たちは決して無関心ではいけません。遠い国のことではなく、自分ごととして人権意識を強く持って過ごしたいものです。



子どもの“体験格差”を減らしていくために

山梨県の長崎知事は今年9月29日に、県の子ども施策の指針となる「山梨県こども計画」を策定する方針を明らかにしました。国の「こども基本法」が今年4月に施行されたことを受け、今後、県内の子育て世代・約3千世帯にアンケートを実施したり、諮問機関の「県子ども・子育て会議」に子どもや保護者を招き意見を聴くなどして、来年度中に策定する予定です。

アンケートでは、子育ての悩みや貧困について実態把握を図るほか、家庭環境によって自然体験や旅行体験などに差が生じる「体験格差」の状況などを調べる、とのことです。そこで本稿では、子どもの体験格差の問題点や望まれる対策について、私見を述べたいと思います。

文部科学省の令和2年度「青少年の体験活動に関する調査研究報告」によれば、小学生の頃に体験活動(自然体験、社会体験、文化的体験)や読書、お手伝いを多くしていた子どもは、その後、高校生の時に自尊感情や外向性、精神的な回復力といった項目の得点が高くなる傾向が見られた、とのことです。

また、公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンが昨年、全国の小学生保護者2千人余を対象に行った「子どもの『体験格差』実態調査」によれば、

- ①経済的に厳しい家庭(世帯収入3百万円未満)の子どもの約3割が、学校外の体験機会が何もない(=体験の貧困)
 - ②物価高騰により、特に経済的困難を抱える家庭で子どもの体験機会が減少している
 - ③現在の経済環境が厳しい保護者ほど、自身が小学生だった頃の体験機会が少ない
- との結果が出ています。

そんな貧困家庭の当事者で、いじめや不登校を体験しながらも独学で大学に進学し、昨年「死にそうだけど生きてます」(CCCが「イハル」という著書を出した「ヒオカ」さんは、「子どもの体験格差は、将来に大きな影響をもたらす」と、自らの経験を発信し続けています。

これらを踏まえると、地域や学校、家庭が協力し、「多様な体験を土台とした子どもの成長を支える環境づくり」を進めていくことがとても大切だと感じます。それを推進するうえで有効な制度の一つが、「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会制度)です。学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む、「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

法律(地教行法)では全公立学校への設置が“努力義務”となっており、山梨県内では昨年度、16市町村・80校に設置(導入率・32.7%)されています。その中で行う「地域学校協働活動」では、地域住民等の参画を得て、①放課後等における学習支援・体験活動(放課後子供教室)、②授業補助、校内清掃、登下校対応、部活動補助などの学校における活動、③地域の防災活動やお祭り等地域の伝統行事への参画等の地域を活性化させる活動、などを実施しています。

例えば、甲斐市立双葉西小学校では、平成23年に新たに赴任した校長が自ら地域をまわり住民に声をかけて「学校応援団」を募り、「学校支援地域会議」を立ち上げました。さらに、平成29年からは市の臨時職員として地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)を配置したことにより、学校教職員の事務負担を軽減でき、より持続的な取組に改善しつつある、とのことです。(※推進員や地域ボランティアへの謝金等や、活動に必要な消耗品費等に「地域と学校の連携・協働体制構築事業」補助金を活用できる。→補助率：国1/3、県1/3、市町村1/3)

こうした制度も有効に活用して、学校の教職員だけでは十分に手の回らない“子どもの豊かな体験活動”を、地域住民の有志がより多く積極的に支援していくことが望まれます。

活動報告

人権移動教室 9月25日(月) 双葉中学校において、人権移動教室を開催しました。

人権啓発講演会 10月5日(木) 甲府市庁舎において、人権啓発講演会を開催しました。

今後の予定

人権移動教室 11月14日(火) 甲府市立玉諸小学校において、11月15日(水) 甲府市立南中学校において、人権移動教室を開催します。



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチャ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

協賛企業：(株) 成心設備、西関東開発(株)、(株) ウィルマート、(株) R&C、(株) フジコー、(株) 渡辺工業所、甲府市管工事協同組合、(株) とちの木

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立里垣小学校 (六年生男子)

人権について

ぼくは、「人権」の話聞いて、大事なことがなにか分かりました。それは、二つ。一つ目は、「命を守ること」二つ目は、「幸せにくらすこと」です。こんなあたり前のことが、人権とは、びっくりしました。いままでは、考えすぎて、よく分かっていませんでした。ですが今日の学習をして、意味がよく分かりました。

次に、ニューヨークでの出来事です。ぼくは、すばらしいと思いました。なぜなら、一人一人がやさしさをほっきしていたからです。そういう時は、一人でもいやな人がいると、そのやさしさがはっきかたないからです。子どもがやさしさをほっきしていることも、とてもびっくりしてしまいました。子どもの時が、やさしさをほっきすることはすばらしいと思います。だから、私もやさしくすることが、大切だと知りました。

甲府市立里垣小学校 (六年生男子)

人権について

ぼくは、今日の授業で「人権 命と幸せを守る権利」ということを学びました。そのために、「人のことを大切にすること」ということが重要だと教わりました。例えば、バスや電車に乗っていて、お年寄りが来たら申ずるといふことなど、ふだんあまり実せんすることがないことでした。だけど、それをすることでおたがいが気持ちよくなったり、人を大切に

することにつながるので、今度機会があったらチャレンジしてみたいと思います。また「国境なき医師団」のビデオでは、自分の命をきけんにさらしてまで難民の人々を助け、救護していたので、とてもかっこいいと思いました。天災や戦争などによって、はかされてしまった街を目の当たりにしながら活動していたので、本当にすごかったです。これからも、人のことを大切に生活していきたいと思います。